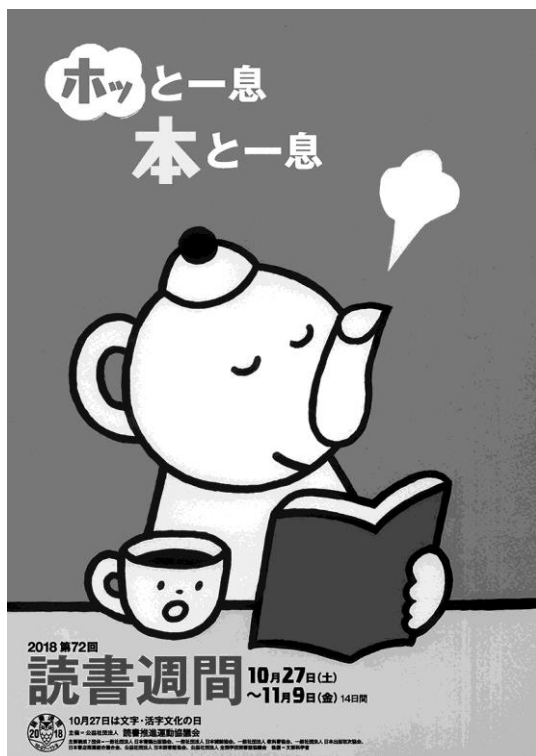




今年の秋の読書週間は、
10月27日(土) ~ 11月9日(金)
の2週間です。9月に体育の行事があった学校もホッとひと息ついているのでは？いそがしい時も、本を読んで、「ホッとひといき」してみるのがいいかもかもしれませんね。



ホッと一息、本と一息

名張市学校図書館だより 中学校版 平成三十年読書の秋号 発行：教育センター



昨年度の貸出数は…？

名張市内の小中学校では、図書室（学校図書館）の貸し出しがすべてデータベース化されています。みんなどのくらい本を借りているのでしょうか？そこで、平成29年度の中学校貸し出しランキング（一人当たり何冊か）を発表します。

1位 5.9 冊

中学校の貸し出しランキング 1位の学校は 5.9 冊でした。

この中学校の図書室は、人通りの多い場所にあたり、蔵書もライトノベルが多かったりするのも一因としてあるかもしれません。貸出データからわかることは、この中学校は「学校で全く本を借りない生徒が少ない」のです。一人がとびぬけてたくさん借りているのではなく、「みんなが平均的に借りている」のです。この中学校の生徒のみんなは、本を読む楽しさをよくわかっているのかもしれませんが、貸出データからは分かりませんが、他の中学校のみんなも、やまなみ号から借りてきた本を朝読の時間に読んでいたり、クラスに学級文庫があったりして、たくさん読書をしていることと思います。図書室にも面白い本があると思いますので、ちょっとのぞいてみませんか？待ってま～す！



今回のおしらせ
● 二十九年度貸出数
● こどもの本総選挙



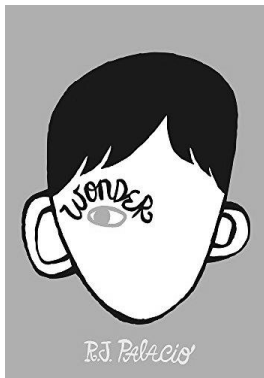
こどもの本総選挙よい

先日発表された「こどもの本総選挙」。テレビのニュースで見た人もいるのではないのでしょうか？
対象は小学生でしたが、中学校の図書室に入っている本がいくつかあったので、紹介します。



20位【5秒後に意外な結末】編著：桃戸ハル 発行：学研

「5分後に意外な結末」シリーズのうちの一冊です。1話が2ページで、タイトル通り5秒で読めるくらい短いの、朝読にもピッタリです。100話入っているので、クスッと笑えたり、ゾーッとしたり…。いろいろなお話を楽しんで読むことができます。最新刊の「5億年後に意外な結末」は、今までの5分後シリーズとは一味ちがっていて…。ぜひ、読んでみてください。



47位【ワンダー】作：R.J.パラシオ 発行：ほるぷ出版

去年、「ワンダー君は太陽」のタイトルで映画化されました。トリーチャーコリンズ症候群という病気で、顔に障がいのある10歳のオーガストが初めて学校に通う話。6人の登場人物それぞれの視点から語られています。何気ない質問でも、オーガストにとってはとんでもなく失礼なことだったり、オーガストにとって普通のことも、友達にとってはすごいことだったり…。下を向いてばかりではなく、ちょっとの勇氣を持って前を向いてみるといいことがあるかも？



57位【都会（まち）のトム・ソーヤ】作：はやみねかおる 発行：講談社

毎日の塾通いで慢性寝不足^{ない}の内人。「どこにでもいる平凡な中学生」の内人が、クラスメイトの創也^{そうや}のひみつを偶然知ってしまったことから、冒険が始まる！

話を読み進めていくと、内人は「どこにでもいる平凡な中学生」どころか、ものすごいサバイバル能力に長けていることが判明。創也も「世界最高のゲームクリエイターになる」という夢を持っている。こんな二人が「砦」と呼ぶ、廃ビルに作った秘密基地でワクワクの毎日を過ごします！

編集後記



こどもの本総選挙では何冊か課題図書が入っていました。上で紹介したワンダーもそうですが、35位の【二日月】（作：いとうみく 発行：そうえん社）、83位の【ぼくたちのリアル】（作：戸森しるこ 発行：講談社）など5冊がランクインしています。【二日月】は舞台化され、新潟で上演されました。「課題図書はちょっと…」と思われがちですが、実はおもしろい本が埋もれている宝の山なのかもしれませんね。